

第45回ユニセフ研修会  
2012.1.26.(木)

子どもの育ちに影を落とす  
日本社会の経済格差  
~親の育て方は経済格差を是正する鍵~

内田伸子  
(お茶の水女子大学)

uchida.nobuko@ocha.ac.jp

スクリプト

. 想像力の発達  
想像 経験 新しいものが付け加わる

. 学力格差は幼児期から始まるか  
幼稚園卒 > 保育所卒は本当か?

. 子どもの育て方は経済格差を是正する鍵  
子どもを伸ばす援助・ことばかけ

. 想像力の発達  
五官を使った体験の大切さ

想像力 ⇔ 生きる力

極限状況下での内面化の傾向が  
著しくなる ⇔ 想像力

フランクル  
『夜と霧 ドイツ強制収容所の体験記録』  
霜山徳爾訳(1965)みすず書房  
111-112頁

第一次認知革命(生後10ヶ月)  
. 頭の中に起こる変化  
1. イメージの誕生  
見立て遊び、延滞模倣  
2. 記憶し、思い出せるようになる  
大脳辺縁系の海馬のネットワーク化  
3. 物理認識「モノの同一性認識」が始まる  
'モノは見えなくなても存在する'という認識  
. 外からわかる変化  
「社会的参照」；他者に問い合わせる

社会的参照をする子、しない子

社会的参照 Social Referencing

(1) 生後10ヶ月の赤ちゃんとお母さん100組

ブレイルームで遊んでもらう

犬型ロボットを提示 赤ちゃんびっくり

お母さんの顔を見上げる子 62名

見上げない子 38名

(2) 1歳半で同じ実験を繰り返した

62名はお母さんのところに駆け寄る

38名はお母さんに近づくが

目は犬型ロボットに釘付け

(向井, 2003)

## 物語型 vs. 図鑑型

「気質」(対人対物システム)……個性

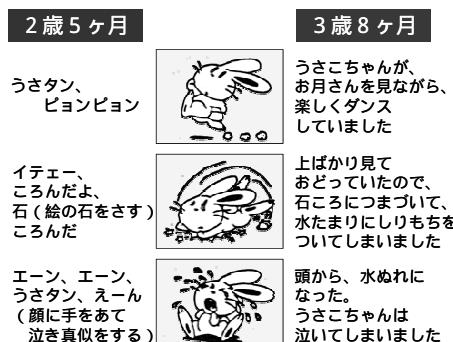
<b>62名</b> 60%が挨拶、感情表現語 40%は名詞	<b>→「物語型」</b> 人間関係に敏感
<b>38名</b> 95%が名詞 → 「図鑑型」 5%が動詞 モノの因果的 成り立ちに敏感	

(内田・向井, 2008)

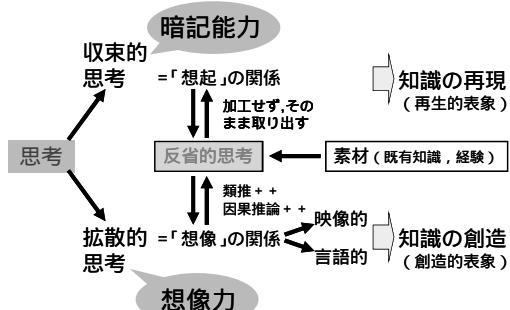
## 想像の素材は経験(体験)

### 想像は創造の泉

- ・未来を思い描く素材 = 経験(体験)
  - ・想像 経験
  - 経験を複合したり脈絡をつけるとき  
何か新しいものが付け加わる
- ↓
- 創造の可能性



## 「暗記能力」と「想像力」の関係



## 類推 (analogy)

類推を働かせて知識を獲得する

類推…既存知識と目の前の情報を比較し、差異と共通性を見分ける推論

例. 海岸でウニをつけた2歳児「ボール」と言ってウニを指したが触ろうとはしなかった。人は、類推をはたらかせて自分がよく知っていることに関係づけて情報を取り込んでいる。

## 子どものつぶやき

「ゆうあけこあけのかたまりだ！」  
3歳男児

「ここで雲をつくってたのか！」  
4歳女児

「おかあさんはおばあちゃんから生まれたんでしょ。じゃあ、お父さんはおじいちゃんから生れたの？」  
5歳男児

「(白と黒の)パンダはおめでたくない動物なんだね、きっと」  
6歳 女児

全効済編『最近子供がふともらしたいとおしい“ひと言”は?』  
河出書房新社 1998より

## 語る力の発達

「**談話の文法**」(物語スキーマ)  
談話・文章の時間的展開を構成する

5歳後半~

事件・出来事を語る  
起承(転)結構造  
常套句・常套の演出技法

### 「星を空へ返す方法」 [M.T.5歳10ヶ月]

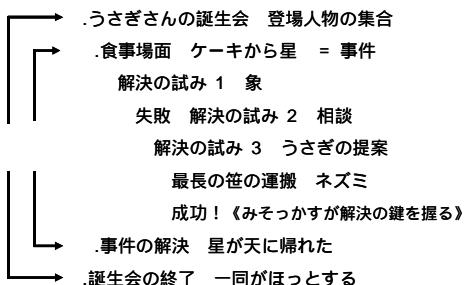
7月15日はうさぎさんの誕生日です。今日は7月15日、うさぎさんの誕生日だから森の動物たちが集まってきたました。そして、みんなで食事をしているときにケーキの陰から星が出てきました。星はみんなに言いました。「ぼくね、空からあっこっちゃったの。だからね、ぼくをね、空に返して」と言ったら、みんなはびっくりしました。「空に返すって?」「うそ、ぼくは空の星さ。」「星?」と、みんなはびっくりしました。

そこで、象は言いました。「おれにまかせてよ。」と、象はその星を自分の鼻に入れる。勢いよく飛ばしました。それでも星は、あっこってしまいました。そしたら、こんどはみんなで相談をして、うさぎが言いました。「そうだよ、ながーい笹を持ってこようよ。それに星をのせてあげてさ、そしてさ、また、その笹をさ、伸ばしてさ、空までさ、送ってあげのさ。」とうさぎが言うと、みんなは「そうしよう。」と言って笹をとってきました。

そのなかでも一番 笹が長いのをとってきたのはネズミでした。ネズミは、手がゆらゆらになって、すごく長い 笹を持ち帰りました。みんなでそのままに星をのせると、土の中に埋めて一日待ちました。そうすると、その 笹は、1日だというのに、ぐんぐん伸びて空に届きました。そして、星は空に帰ることができました。

そして、その誕生日があわったあと、みんなが、家で空を見ると、キラキラ光ってる、とてもきれいな星がありました。みんなはその光ってる星を、きっと落ちてきた星だと思つたのです。

### 「星を空へ返す方法」エピソード分析



### 「ウソッコ」と「ホント」の区別?

RQ: 子どもは何歳ごろから虚構と現実をいつから区別するようになるのか?

認知や言語の発達とのかかわりはどのようなものか?

e.g., 砂だんご のプレゼント

(加用, 1989)

お砂場で砂団子を作る子どもたち  
子ども「おだんご どうぞ」(差し出す)  
おとな「ごちそうさま」(パクッと口の中に)

3歳児: 平気で遊びを続ける。

4歳児: びっくりして目をまんまるくしたり,  
困ったことが起こったと、もじもじしたり,  
なみだ目になって、うつむいてしまう。

5歳児: 「ホントに食べちゃダメ! ウソッコで食べる  
マネすんの。お砂ってばっちいんだ。ママ  
が言ってたもん。猫ちゃんがお砂場にオシッ  
コするかもしれないって。」

理由づけや根拠 可逆的 操作  
因果的推論の手段

理由づけ「なぜなら、……だから」

「夢の中の出来事」が語れるのは何歳頃から?

後の出来事 前の出来事に遡れるか?

5歳後半~ 時間概念の成立

5歳後半~ (内田, 1985)

### 順向条件



### 逆向条件



### 逆向条件



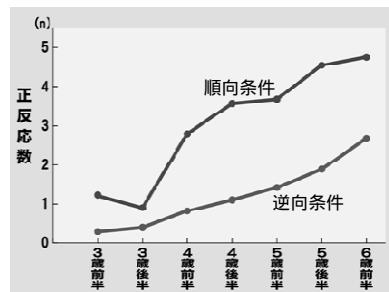
S: 「うーん、ほんとうは芽からアサガオになるんだけど…」

E: 「そうね、だけどこちの絵からは作れない？」

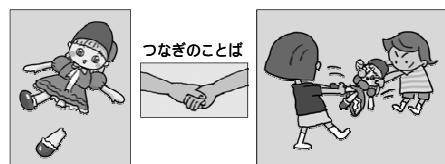
S: 「うーんと…、アサガオが、小さくなって、芽になった」

(T. I. 5歳5ヶ月)

### 正反応数

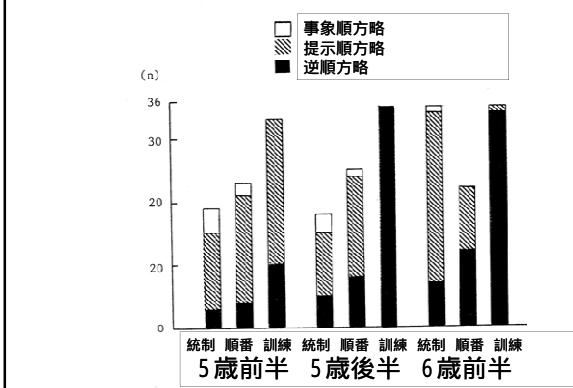


### 模倣再生の訓練



「だって、さっき、…だから」

### 訓練後：逆向条件で用いられた方略



相手の視点に立てるか  
ー他人の気持ちがわかるか？ー

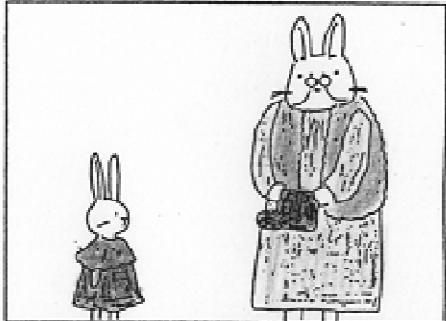
うさこちゃんは、赤い色が嫌いなの。  
うさこちゃんのお誕生日におばあちゃんが赤いブーツをプレゼントしてくれたんだって。

問い合わせ；うさこちゃんはどうする？なんて言う？

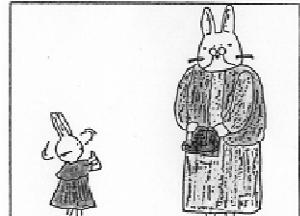
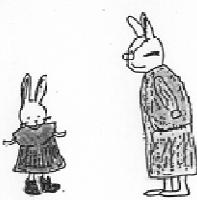
→ 展示ルール(*display rule*)  
人目を気にして振る舞い方を変えるか？



うさこちゃんは赤い色が嫌いなの。



うさこちゃんのお誕生日におばあちゃんが  
赤いブーツをプレゼントしてくれたんだって。



うさこちゃんは、そのときどうするかしら？  
なんて言うかしら？

他人の気持ちが理解できるか？

うさこちゃんは、そのときどうする  
かしら？なんて言うかしら？

3歳児 「いらないの。  
<E:どうして？> 赤きらいなの」

5歳児 「喜んでもらう。ありがとうって言う。  
おばあちゃんが、せっかく、くれたんだから」

→ 3歳児と5歳児は正反対  
“恥ずかしがりや”的4歳児

灰谷健次郎『灰谷健次郎の保育園日記』  
新潮社、一九九一年

うさこちゃんは、あとから考へてゐ  
る。だからはしゃぐおはなしできな  
い。おはなしでうつむいていたまゝ  
おしゃべりするといつぱい  
あるんだから  
(4歳)

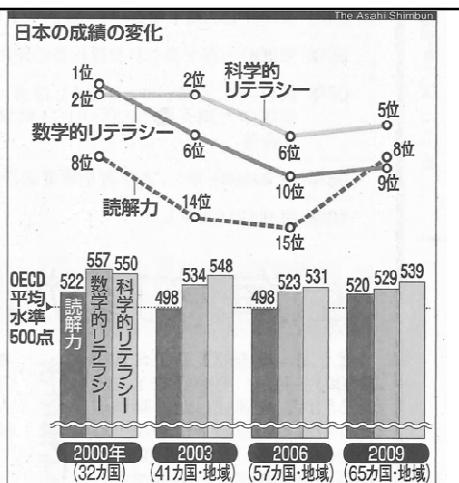
## 学力格差は幼児期から始まるか？ 幼稚園卒>保育所卒は本当？

### 日本 格差社会の到来

1988年頃 コミュニティの崩壊！

- (1) 塾と学校のダブルスクール化  
0歳児保育や駅前保育所、二重保育も出現！  
教育だけではなくしつけまでアウトソーシング  
家族・親子・母子コミュニケーションの劣化！
- (2) コンビニや「ほかほか弁当」や「中食業者」の進出  
お金さえあれば温かい食べ物が口に入る  
(大型冷蔵庫にはレトルト食品で一杯)
- (3) 「男女雇用機会均等法」(1999年 2007年改正)  
母親だって自己実現or苦しい家計を助けるため  
子どもを保育所代わりに塾に行かせ、お金を  
もたせて父親はもちろん母親も遅くまで残業

PISA調査  
OECD(経済協力開発機構)



### 課題 論理・記述力

1. 国際学力比較調査(PISA調査)  
2000年・2003年・2006年・2009年;高1生  
情報を読み取り、論証し、論述する力の欠如
2. 全国学習状況調査  
2007年・2008年・2009年;小6・中3生  
基礎的・基本的な学習内容はおおむね理解  
課題は…活用力の欠如  
知識・技能を活用して、思考し、表現する力に課題がある！
3. 2010年;課題 = 論理力・記述力改善せず  
「幼・保・通園と学力格差 幼>保！」  
これって本当？

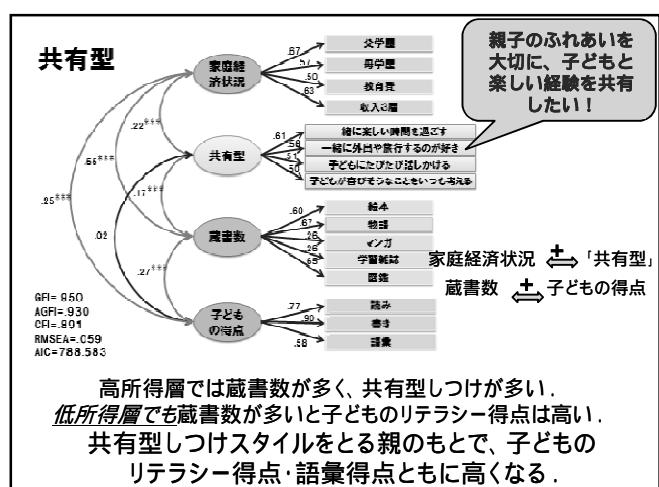
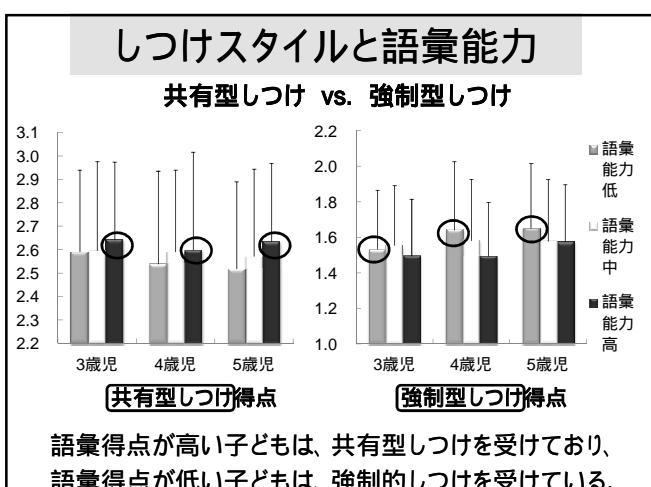
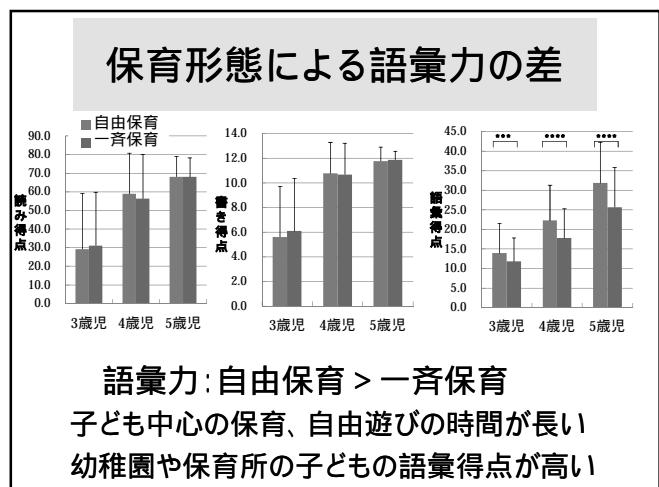
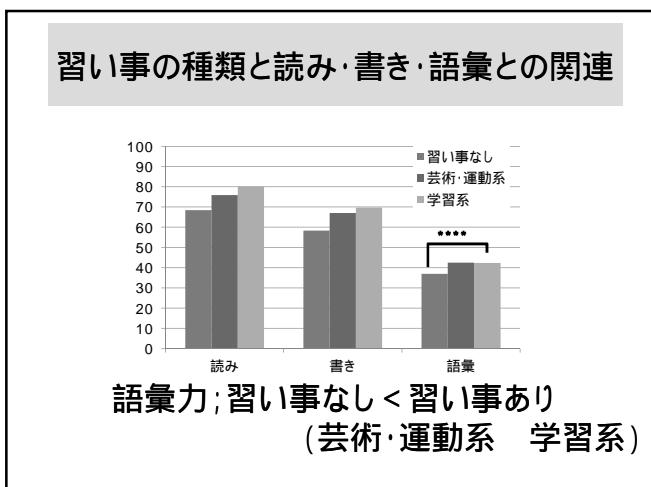
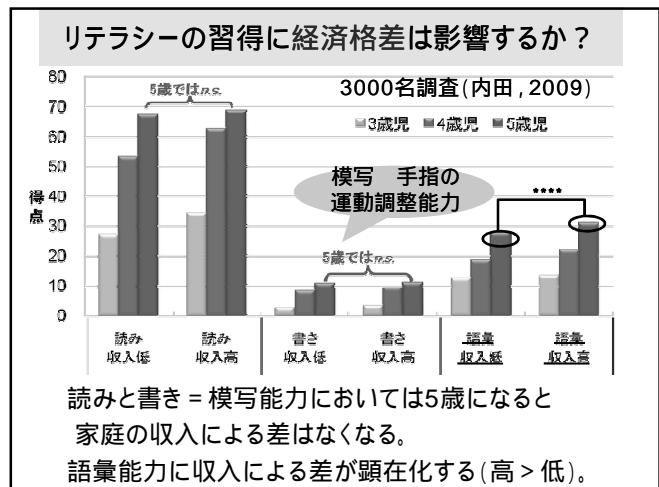
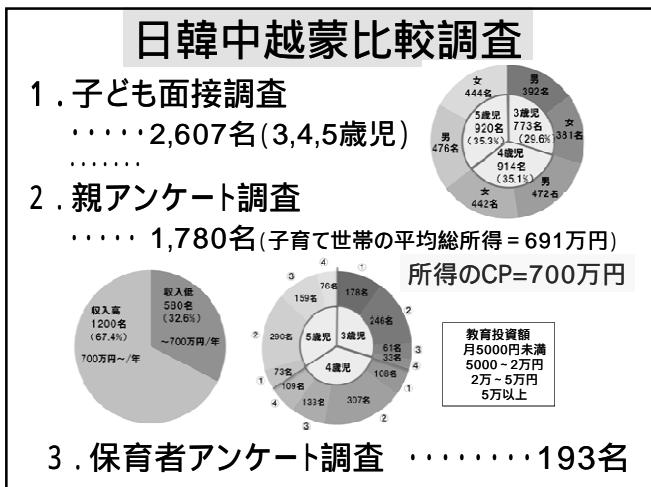
### 学力格差はいつから？

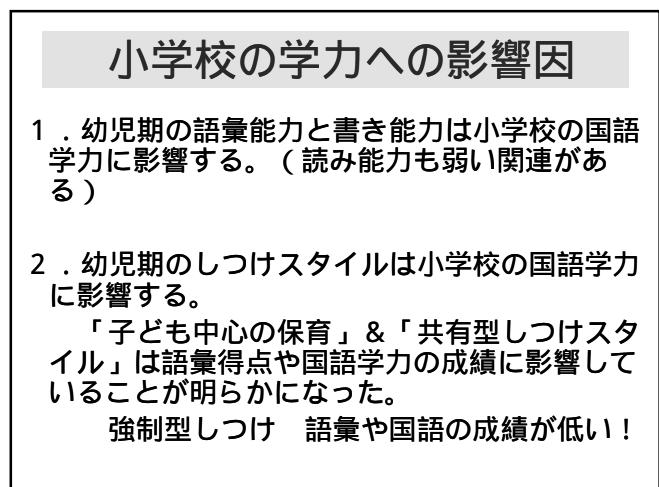
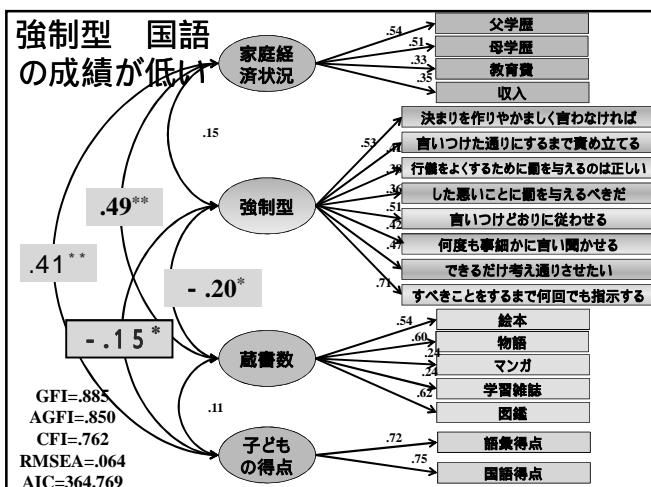
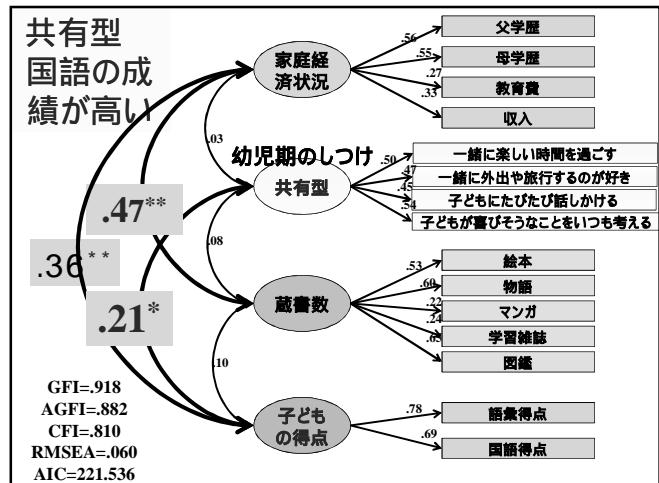
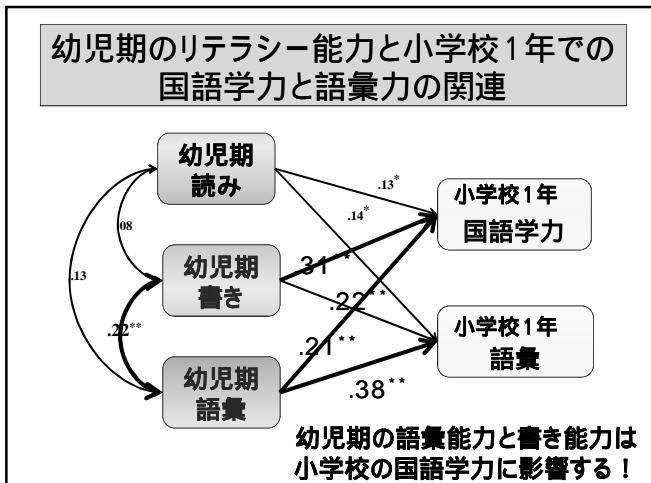
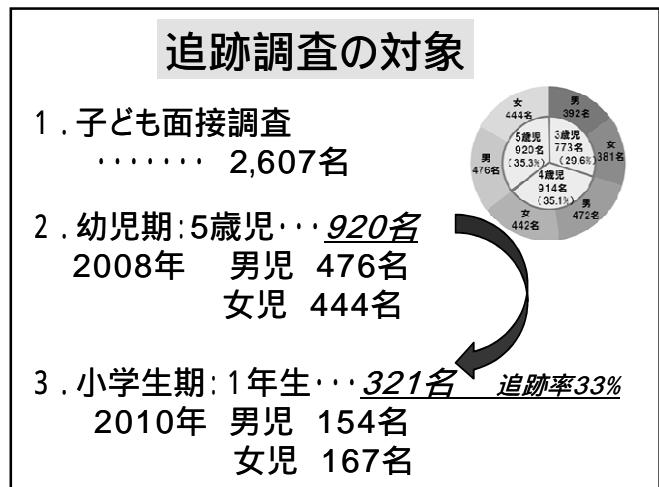
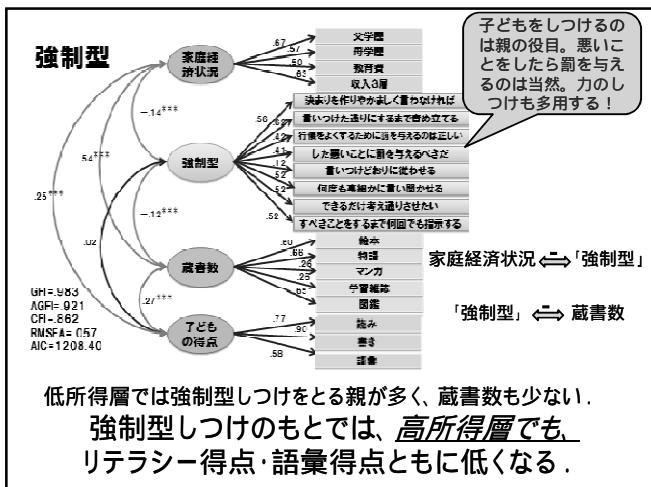
「学力格差は経済格差を反映している」  
(教育社会学の知見、マスコミなど)

RQ: 経済格差は子どもの発達や  
親子のコミュニケーションにどんな影響を  
もたらしているか？  
幼児のリテラシー習得に及ぼす  
社会文化的要因の検討  
-日韓中越蒙国際比較研究-  
(ベネッセ次世代育成研究所の研究助成)

### 文化の価値づけ

- リテラシー習得の文化装置  
音韻的意識を促す遊び  
例. しりとり、グリコ…
- リテラシー習得の個人差・性差・文化差  
リテラシー習得へ経済格差の要因は？  
. 幼児期には何が学ばれるべきか？  
. 親子のコミュニケーションシステム？





## 「小学校の学力に幼児教育格差？」

文科省；幼稚園>保育所>未就園

2010年7月28日新聞各紙の報道

「幼児教育の大切さを検証した！？」???

これは誤った解釈、あるいは意図的な曲解だ！

幼稚園・保育園の保育の質の違いが小6、中3まで続くとは考えづらい。世帯の所得格差・しつけスタイル（家庭の親子の関わり方）の違いが学力格差につながっているのではないか。

## 子どもの育て方は経済格差を是正する鍵 子どもを伸ばす援助・ことばかけ

### 共有型 vs. 強制型

RQ: 母親の働きかけ方の違いの何が子どもの語彙力に影響するのか？

(高所得層、高学歴、専業主婦)

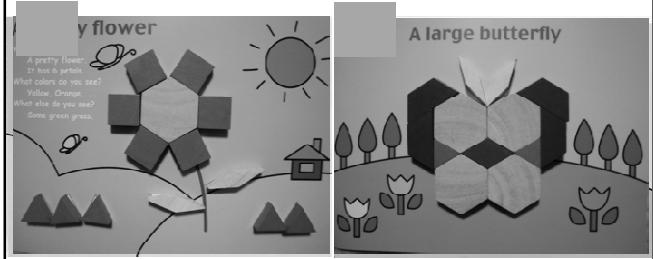
ブロックパズル課題場面(正解や難易度の違いがある)での母子のやりとりを観察した。

絵本の読み聞かせ場面(正解があるわけではない)での母子のやりとりを観察した。

『きつねのおきゃくさま』

### 共同の問題解決

■手順・材料 色と形が一致した6種類のブロック  
課題シート2種類



易しい課題

難しい課題

#### 共有型：

子どもの顔をみている。  
子ども「え？ きつねさん死んじゃったの？」  
やさしかかったのに。しんせつだったのに。  
母親「ううね、しんせつだったのにね」  
と共感的にサポートする。



#### 強制型：

「とっぴんはらりの ぶう。」  
バタンと本を閉じて、  
母親「今のお話しどういうお話だった？」  
言ってごらん。  
子どもが間違えると、...  
「え？ ママそんなふうに言ってない。  
ここ読んでごらん」  
子どもに読ませ、「ほらね。間違えて  
るじゃない。ダメよ。ママのことば  
しっかり聞いてないと！」と  
勝ち負けの言葉を投げつける。



#### 共有型で、なぜ語彙力が向上するのか？ -絵本共有場面と問題解決場面-

##### ■共有型

- ✓ 考える余地を与える
- ✓ (援助的)サポート
- ✓ 子どもに敏感で子どもにあわせて柔軟に調整する
- ✓ 主体的な探索や自律的に考えて行動する



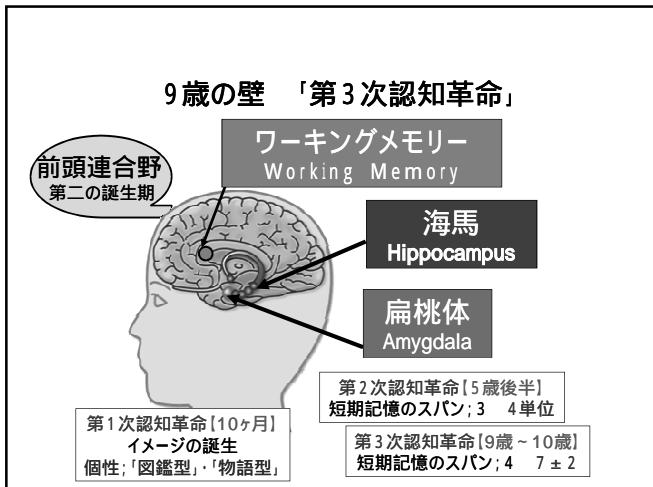
語彙力

##### ■強制型

- ✓ 考える余地を与えない(指示的)トップダウン介入
- ✓ 過度な介入、情緒的サポートの低さ
- ✓ 主体的に探索せず、他律的行動(親の指示を待ち・顔色を見ながら)



語彙力



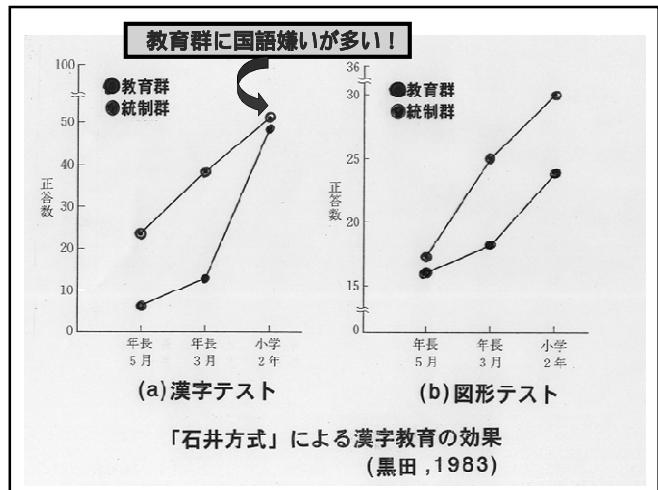
**叱られながらやった勉強は身につかない**

a.大脳辺縁系(扁桃体と海馬):4歳頃  
b.前頭連合野のワーキングメモリー:5歳後半  
×扁桃体で緊張・不快を感じると  
海馬で失敗例が蘇り他のことを考えられなくなる  
冷や汗が出たり頭が真っ白になる  
扁桃体が快(面白い・楽しい)を感じると  
ワーキングメモリーに情報伝達物質が送られ海馬を活性化し、情報を記憶貯蔵庫にどんどん蓄えることができる「好きこそもの上手」

**「50の文字を覚えるよりも  
100のなんだろ？育てたい」**

1. 自分から本当にやろうとしないと自分の力にはならない。
2. 自分で関心をもてばあっという間に習得してしまう。
3. 文字は子どもの関心の網の目にひっかかるに過ぎない。肝心なのは文字が書けるかどうかではなく、文字で表現したくなるような内面の育ちである。

創造的想像力を育む



**子どもを伸ばす援助・ことばかけ**

1. 子どもに寄り添う 安全基地<信頼関係>
2. その子自身の進歩を認め誉める 他児と比べない。
3. 「生き字引」のように余すところなく定義を与えない。
4. 「裁判官」のように「判決」をくださない 禁止や命令ではなく「提案」を！
5. 子ども自身が考え、判断する余地を残すこと、自律的思考力 そして 創造的想像力！

**「これにもお豆がなるの？」**

渡辺万次郎さんとお孫さん(5歳, 4歳)のやり取り

「私はかつて幼稚園の二児を近郊に伴った。彼らは「みやこぐさ」の花に注意を引かれたが、その名を問うほかに能がなかった。当時、子どもの菜園には、同じ豆科の「えんどう」の花が咲いていたので、私は名を教えるかわりに、その花をもって帰り、おうちでそれによく似た花を見出すようにと指導した。彼らが帰宅後、両者の類似を見出した時には、小さいながらも自力に基づく新発見の喜びに燃えた。やがて一人は「みやこぐさ」について、「これにもお豆がなるの？」と尋ねた。それは誰にも教えられない、独創的な質問であった。私はそれにも答えず、次の日曜に彼らに現場で確かめることを提案した。次の日曜に彼らがそこに小さな「お豆」を見出したとき、そこには自分の推論の当たった喜びがあった。秋がきた。庭には萩の花が咲いた。彼らは萩にも豆がなることを予測した。彼らは過去の経験から、いかなる花に豆がなるかを自主的に知り、その推論を独創的にまだ見ぬ世界に及ぼしたのである。」

(高橋金三郎「授業と科学」麦書房, pp.149-150.  
渡辺万次郎「理科の教育」8, p.11, 1960より)